

町制 70 周年記念企画展 箱根町 70 年のあゆみ



①町役場新庁舎落成 (1966 年) ②観光美化パトロール隊が発足 (1970 年) ③箱根寄木細工が国の伝統工芸品に指定される (1984 年) ④箱根温泉統一キャッチフレーズが「なんかいよね、箱根って。」に決定 (1996 年) ⑤町のシンボルマーク決定 (1986 年) ⑥虻田町姉妹都市提携 40 周年 (2004 年) ⑦大涌谷周辺の噴火警戒レベルが 2 に引き上げられる (2015 年) ⑧箱根ジオパークが誕生 (2012 年) ⑨箱根八里が「日本遺産」に認定 (2018 年)

2026 9.19 (土) - 12.15 (火)

箱根町立郷土資料館

HAKONE MUSEUM OF HISTORY AND FOLKLORE

【開館時間】 9:00 ~ 16:30 (入館は 16:00 まで)
【休館日】 毎週水曜日、最終月曜日
【入館料】 一般 300 円、小・中学生 150 円
(20 名以上は団体割引あり)
【交通】 箱根登山鉄道「箱根湯本」駅から徒歩 5 分

〒250-0311 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266
電話 0460-85-7601 (教育委員会生涯学習課)



町制 70 周年記念事業は、神奈川県企業庁の助成を受けています。

神奈川県企業庁は、箱根を流れる早川の水を利用して宮城野にある早川発電所で再生可能エネルギーである水力発電を行っています。
同庁では、保有するダムや発電所の所在地で「ダム・発電所地域振興助成事業」を実施しており、町制 70 周年記念事業は、事業費の一部助成を受けています。

神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (WESKAMS) 事業

ミュージアム・リレー
第 380 走

本企画展の展示解説を実施

【日時】 11/13 (金) 14:00 ~ 16:00
【定員】 15 名
【申込】 当館まで電話でお申込み
ください (先着順)



乙女バイパスが開通
(昭和 39 年)



芦ノ湖温泉が誕生 (昭和 41 年)



箱根観光物産館が完成
(昭和 45 年)



箱根に向かう車たち (昭和 51 年頃)



大名行列 (昭和 51 年)



ゲートボールを楽しむお年寄り
(昭和 61 年頃)



温泉に入るユニーク教育
(昭和 61 年頃)



大涌谷の噴煙
(平成 3 年頃)



心電図検査 (平成 3 年頃)



健民祭 (平成 3 年頃)

昭和 31 年 (1956) 9 月、箱根全山の湯本町、温泉村、宮城野村、仙石原村、箱根町 (昭和 29 年に箱根町、元箱根村、芦之湯村が合併) の五か町村が合併して、現在の箱根町が誕生しました。そして今年、箱根町誕生 70 年の節目の年になります。郷土資料館ではこれを記念し、企画展「箱根町 70 年のあゆみ」を開催します。

70 年という長い歴史の中で、時代は昭和から平成、令和へと移り、町を取り巻く社会も高度成長期からオイルショックを経てバブル時代を迎え、やがてバブル崩壊やリーマンショックなど大きな経済変動の波を経験するなど、大きく変わりました。近年ではグローバル化の中で外国からの観光客や住民が増加する一方、少子高齢化や人口減少、さらには大涌谷噴火や台風被害などの度重なる自然災害や、新型コロナウイルスの流行などさまざまな課題への対応にも迫られてきました。

その中で先人たちは、時代の波を乗り越えて箱根を日本有数の温泉観光地へと発展させ、また住民たちの住みよいまちづくりを進めてきました。

今回の企画展では、この 70 年間にわたる箱根町の動きを中心に、写真や様々な資料を通して紹介します。先人たちの歩んだ道を振り返りつつ、改めて未来の箱根について考えるきっかけとなれば幸いです。

箱根町立郷土資料館

Hakone Museum of History and Folklore



●電車をご利用の場合…

箱根登山鉄道「箱根湯本」駅から徒歩 5 分。

●バスをご利用の場合…

箱根登山バス・伊豆箱根バス「箱根湯本」バス停から徒歩 5 分。あるいは箱根登山バス「下宿」バス停から徒歩 3 分。

●お車をご利用の場合…

小田原厚木道路 箱根 I.C. を経由して箱根新道山崎 I.C. から国道 1 号に合流して約 3 分。または東名高速道路路御殿場 I.C. から国道 138 号及び国道 1 号を経由して約 45 分。

Map

